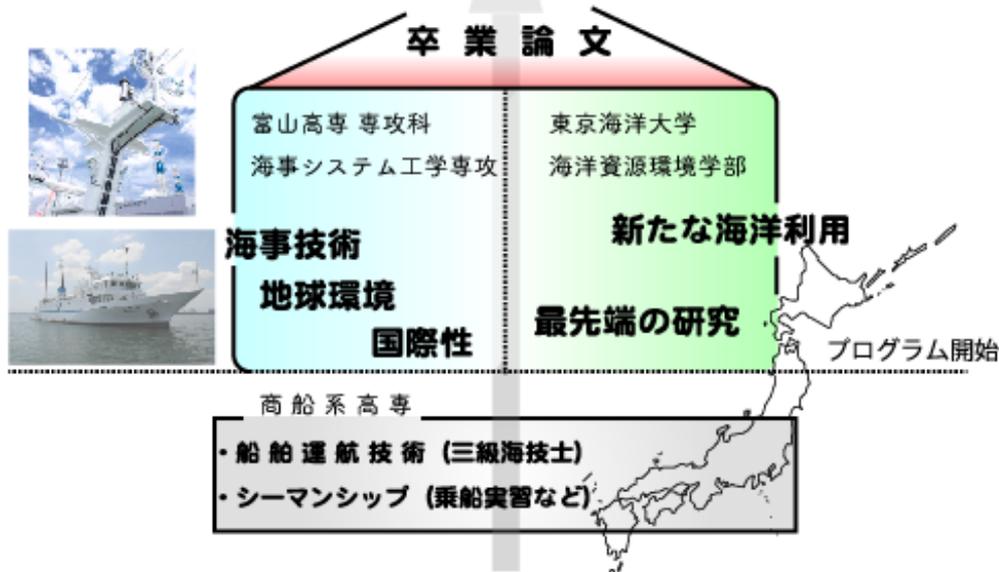


設置の趣旨・必要性

- 四面を海で囲まれた日本にとって、海上輸送を担う人材と、海洋の環境保全と資源開発に携わる人材の育成が急務
- グローバル化と技術革新に対応した知識・技術を有する人材としての高度専門職業人材を育成

連携教育プログラムの特色

船舶運航のスペシャリストの視点で
海洋資源業界に貢献するリーダー人材



【養成する人材像】

高等専門学校商船学科5年半の商船系高専の船舶養成施設の課程を修了した学生(高専卒業後に三級海技士の海技免状取得)が、**富山高専専攻科と東京海洋大学海洋資源環境学部にて海洋環境と資源に関する専門知識を学べるプログラム**を構築する。このプログラムで養成する人材像は、これからの成長産業として期待される海洋資源業界に対して船舶運航のスペシャリストの視点で貢献できるリーダーである。

【教育課程の特色】

学生は**富山高専専攻科にて船舶の運航に必要なシーマンシップ**を身につけ、**東京海洋大学にて新たな海洋利用に関する世界最先端の知識と技術の修得に資する総合教育**を受ける。

異なる分野(「商船学」と「海洋資源環境学」)が融合した教育課程を編成し、本校専攻科と東京海洋大学での連携教育による専門性を併せ持つ人材を輩出する。

育成された人材の社会への貢献

高等専門学校商船学科5年半の船舶養成施設の課程を修了した商船系高専の学生は、三級海技士の免許を取得している。プログラム終了後は、海運業界を選択肢としながら、海洋環境の調査・解析・保全・利用を行う企業、海洋や海底の探査・利用・開発などに関わる企業や官公庁が進路となる。これらのフィールドで活躍する人材として社会に貢献する。